



高輪だより

平成30年度1月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

亥年の始まりに

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

2019年、明けましておめでとうございます。今年は亥年です。亥年には「無病息災」の意味がある年とされています。子どもも大人も健康に元気に過ごす1年になるよう今年もわくわくする遊びや活動を充実させて参ります。

11月の終わりに保護者の皆様に登園時間を守りましょうとお伝えしました。決められた時間にほとんどの幼児が登園するようになり、朝の保育室に明るく元気な子どもたちの声が響いています。幼児も頑張っていますが、お家の方が朝のリズムを整え準備してくださっているおかげです。寒い日、雨の日、風の日も時間を守ってくださりありがとうございます。時間を守ることは社会生活においての基本です。幼児にとって幼稚園の生活をみんなと一緒にスタートできることは、心が安定し活動や遊びへの意欲を高めます。この心地よい習慣は、就学以降、生涯に渡り影響する大切な習慣です。

また、時々幼児が忘れ物をしたと困った表情をしているときがあります。話を聴いて状況を確認めるとリュックや袋の中から見つかるときがあります。お家の方が準備するので本人は忘れたと思うのでしょうか。弁当、タオル、コップ、上履きなどの持ち物は、年少・年中はお家の人と一緒に確認しながら準備するとよいですね。年長のこの時期には置き場所を決めておいて本人が自分で確認しながら準備していくようにしていきましょう。就学に向けての準備です。

徒歩での通園では、保護者の方が交通ルールや歩き方を教えていただくことがやがて安全に一人で歩く準備となります。年長さんは、修了まで2ヶ月あまりです。手をつないで会話をしながら通った道は、親子の思い出となることでしょう。残りわずかな日々を大切に過ごしてください。

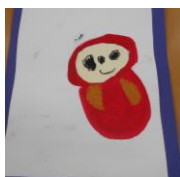
「亥年」は、安定した状態で始動を待つ準備期間という意味もあるそうです。次の段階へとステップアップするタイミングをじっと狙って待っているといったイメージだそうです。まさに就学以降の生活の基盤となる幼児期はそういった意味にぴったりです。安定した状態の環境をつくるのは家庭や幼稚園の役割です。「一年の計は元旦にあり」亥年の始まりに子どもたちの将来のためにより一層の連携を深めていきたいと思いました。今年もご支援、ご協力をお願いいたします。

<新年の飾り>



<年長>

富士山・干支・だるま
折り紙など



<年中>

だるま
絵の具描画



<年少>

こま

クレパスぬり絵など

